

主な議案

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、3月12日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

主な議案

委員会審査

総括質問・一般質問

委員会視察レポート

年間活動成果

役職一覧・活動テーマ

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

市内業者育成の観点から、社会的貢献度に関する評価を



▲上戸田福祉センター完成イメージ

「上戸田福祉センター再整備工事請負契約」

総合評価方式の項目では、市内業者育成の観点から、対象となる市内業者が少ない場合も、地域貢献などを評価すべきとの意見が出され、執行部から、特定業者が有利となる項目は、県総合評価審査小委員会から難色を示

されるが、今後は提案していききたいとの答弁がありました。

「26年度予算」

総務費の一般管理費では、スマートフォン用アプリケーションの内容と利用開始時期について質疑があり、広聴機能や防犯・子育て情報などを市民との意

見交換を実施した上で導入し、平成26年10月の運用開始を目的に進めるとの答弁がありました。防災費では、河川監視システム構築と保守業務の内容や、カメラ設置箇所について質疑があり、河川水位などを監視し、ホームページ

ジからも閲覧できるシステムであり、市内5つの河川の水位標がある付近に順次設置し、26年度は、緑川の喜沢橋、上戸田川と菖蒲川合流地点の2カ所を予定しているとの答弁がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

新曽第一土地区画整理事業の早期完了に向けて予算獲得を

「26年度予算」

教育指導費では、ICTを活用した学習について、苦手な人や追いつけない人など、児童生徒一人ひとりをつかりと見て、学力向上に努めてもらいたいとの意見がありました。公民館費では、プロジェクターについて、市民が開催する講演会等には貸し出しを行っていない。貸し出して

あり、執行部から、今後、十分検討していきたいとの答弁がありました。彩湖自然学習センター費では、多くの人が利用できるように、センターの利用者数の増加に向けて方策を考へてもらいたいとの意見があり、彩湖自然学習センターリニューアル検討委員会で検討し



▲新曽第一土地区画整理事業地区
上戸田駅西口

ていききたいとの答弁がありました。
「新曽第一土地区画整理事業特別会計予算」
26年度予算が25年度予算と比較して約12億円削減されたことについて、予算削減はこれまで進めてきた事業にブレーキをかけてしまい、事業期間の延長が懸念される。事業に見合った予算を獲得し、早期に事業を完了させてもらいたいとの意見がありました。

※ICT…情報通信技術。

健康福祉

福祉部・子ども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

学童保育4年生まで対象拡大を評価

「25年度補正予算」

高齢者緊急時連絡システム事業に係る減額理由について質疑があり、執行部から、高齢者サービス全体の利用促進について当委員会の提言を踏まえ、研究していききたいとの答弁がありました。

「26年度予算」

学童保育室事業について、小学校4年生まで対象を拡大することと、民間による学童保育室の開設を見込むとの説明があり、拡大を評価する意見がありました。児童福祉運営費について、民間保育園の新設に対し補助するとの説明がありました。

衛生費・予防費では、予防接種システム構築業務等について質疑があり、登録するとお知らせメールなどにより接種のし忘れ防止を図る、県内で初のシステムであるとの答弁がありました。成人保健事業費の健康ポイント制度について質疑があり、一日の歩数や、飲酒、喫煙の節制などについて、市で設定した目標と、参



▶新設された「太陽の子保育園保育室」

「市民医療センター特別会計予算」

加者自身が設定した目標を達成することで、ポイントを付与するとの説明がありました。

市民生活

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

中小企業のニーズを把握し、利用しやすい制度融資を

「25年度補正予算」

商工業振興費では、依然、利用が少ない制度融資について、中小企業のニーズの把握に努め、利用しやすいものにしてもらいたいとの意見がありました。

「26年度予算」

行政振興費では、開封市との友好都市締結30周年記念事業の内容に関する質疑に対し、執行部から、26年度に友好都市締結に関する協議書の期限が切れることから、5年間の延長を行うための調印式

医師の確保について質疑があり、新規採用は大変厳しい状況であるが、新たな人材の獲得方法を検討しているとの答弁がありました。

を本市で行うほか、講演会等のイベントも予定しているとの答弁がありました。

環境保全費では、26年度の環境配慮型システム等設置費の補助対象に、標準になりつつある高効率給湯器エコジョーズを対象外とし、新たにHEMS（ヘムス）を加えるとの説明がありました。

商工業振興費では、商店街街路灯の電気料金等に対する補助金に関し、26年度より、補助率を50%から75%へ引き上げるとの説明が



▶潜水訓練の様子

ありました。常備消防費では、潜水士の有資格者数に関する質疑に対し、有資格者は現在43名で、26年度より正式に運用を開始し、災害時の潜水活動に当たるとの答弁がありました。

※HEMS（ヘムス）……ホームエネルギーマネジメントシステムの略で、エアコンや照明等をネットワーク化し、家庭内の電気使用量を「見える化」する機器。電気使用の無駄がチェックでき、省エネに役立てることができる。